



こんにちは！5月に入り、だんだん夏の気配を感じるようになってまいりましたね。皆様はゴールデンウィークはどのように過ごされましたでしょうか。

長野県立大学の同窓会組織は、「六鈴会」という名称で、長野県短期大学の頃から組織されています。その「六鈴会」の創立90周年を記念し、2023年に「ろくれい奨励賞」が創設されました。その目的は、「幅広く地域で活動する学生を支援することです。この度、私たち築山ゼミの「まちかど図書館ぼたん」の活動が、第三回ろくれい奨励賞を受賞することができ、5月24日（土）に表彰されました。これも、ひとにオーナー様や利用者様、地域社会の皆様のお力添えのおかげです。今後も、この賞に恥じぬように、続けていきたいと思ひます。

Topic 01 第4回イベント、開催しました！

2025年4月20日に、第5回目となるイベントを行いました。今回のスピーカーは、本棚オーナー様の攪上（かくあげ）久子さんで、「バリアフリー絵本って何？」をテーマにお話をしてくださいました。今回は、本棚オーナーの山下さん、坂田さん、樋口さん、内田さん、花石さん、井上さんと、まちづくり長野の宮島さん、築山ゼミ生の千野・徳竹、築山教授の10名が参加しました。

【バリアフリー絵本とは】

主に3種類あり、以下のように分けられます。

- ①障がいのある子どもたちのために作られた絵本（FOR）
- ②障がいについて描かれている絵本（ABOUT）
- ③障がいの有無にかかわらず楽しめる絵本（WITH）

【障がいのある子どもたちのために作られた絵本（FOR）】

絵本の黄金期と言われる1960～70年代に触って楽しめる絵本が誕生しました。具体的には、ふきのとう文庫が入院中の子供たちのために開発した布の絵本や、点訳絵本と呼ばれる点字・隆起印刷によって絵の説明が点字で補完されるような絵本があります。さらに、ヨーロッパでは「さわる絵本」が主流になってきているそうです。例えば、『これ なあに？』（1979）では登場人物が「さわり心地」で「ザラザラくん」などと表現されていたり、『ちびまるのぼうけん』（1981）は隆起印刷によって絵本の中の丸や三角などの形を立体的に触ることが可能になっています。さらに、世界では、香り付き絵本や目が見える子も見えない子も楽しむことができる絵本が増えてきているそうです。

【障がいについて描かれている絵本（ABOUT）】

障がいについて描かれている絵本には、子どもにもわかりやすく、多様性や共感、理解を促すテーマが込められているものが多い。攪上さんは、以下のような例を挙げています。



『わたしいややねん』 絵：松下香住／文：吉村敬子
(偕成社,1980)

→この本は、障がいのある女の子が「周りと違う自分がいやや」と思う気持ちを語るお話だ。しかし、自分にもできることがあると気付いて前向きになっていきます。

『アスペルガーの心』 作：フワリ (偕成社)

→著者フワリさんが自身のアスペルガー症候群の体験を表現した絵本シリーズです。本人の視点から「生きずらさ」や「周囲とのズレ」をリアルに伝えており、子どもにも大人にもアスペルガーの理解を深める一冊です。

わたし いややねん

吉村敬子・文
松下香住・絵



【障がいの有無にかかわらず楽しめる絵本 (WITH)】

攪上さんは、以下のような絵本を例に挙げていました。

- ・『はらぺこあおむし』 エリック・カール (偕成社)
- ・『りんごだんだん』 小川忠博 (写真・文)
- ・『声がでるハイブリッド絵本 こねこが』 作：まつおかたつひで／出版社：めくるむ
→ QRコードで音声読み上げ (目の見えない人も楽しむことができる)



【実際に絵本を読んでみよう！】

ここで、参加者の皆さんと実際にバリアフリー絵本の読み聞かせをしました！触る絵本の『だるまさんの』や『わたしいややねん』、『りんごだんだん』などを読みました。さらに、「まちかど図書館ぼたん」にゆかりのある、「ぼたん」でできた布の絵本を持ってきてくださりました！とてもかわいく、面白いアイデアで年代も関係なく、誰もが楽しむことができる絵本だと感じました。参加者からは、「まちかど図書館ぼたんで、ぼたんなどを利用して布の絵本を作るワークショップなどをできたらいいのではないか」というアイデアも出ました。



【バリアフリー絵本のこれから】

以上のように、最近では様々な種類のバリアフリー絵本が展開してきていますが、このような絵本や読書の楽しみが届いていない子どもも多いということを攪上さんは課題としています。その背景には、著作権の関係で図書館での貸し出し不可なものが多かったりと、バリアフリー絵本が普及していく環境が整えられていないことがあるそうです。絵本は学びだけでなく、思い出・ぬくもりの貯金になるものだという攪上さん。今回お話をお聞きして感じたバリアフリー絵本の素晴らしさが、もっと多くの人に伝わり、多くの子どもたちに攪上さんの想いが届いてほしいと思いました。



今月号から、オーナー様のエッセイをお二人ずつ掲載させていただきます！今月は、本棚オーナーの篠崎浩和さんと杉山逸人 さんです。

「問いを深める本との出会い」

篠崎浩和

「まちかど図書館ぼたん」さんの本棚に本を置かせていただいております篠崎浩和と申します。 昨年の10月に開館したばかりの図書館にお伺いし、スタッフのみなさんの輝く笑顔と館内のあたたかい雰囲気嬉しくて、さっそく本棚オーナーにならせていただきました。

若い頃から本が好きで、ついつい書店や古本屋で買ってしまいうのですが、なかなか読めずにいました。1年ほど前に退職し、一冊の本をゆっくりと時間をかけて読むことが生活の楽しみになりました。以前なら、知識を得ることや問題解決の糸口をみつけようとして読んでいた本ですが、じっくりページをめくっていると、問いがどんどん深まってゆくのが不思議です。そこには初めから答えが書かれているわけではなく、自分の中の問いを豊かに深めてくれるのが本なのだと気付かされました。

最近読んだ本は韓国人作家ハン・ガンさんの『少年が来る』と『別れを告げない』です。『少年が来る』は光州事件（1980年）の悲劇を描いた作品です。私がはじめて韓国に行ったのも1980年代で、韓国が民主化された直後ですからこの事件はまだ韓国社会に大きな影を落としていました。『別れを告げない』は事件としてはさらに古く、1948年から1954年にかけて済州島で起きた「四・三事件」といわれるものが題材となっています。私も済州島に行った際、「四・三平和記念館」を訪れているのですが、じつはあまり記憶に残っていませんでした。今回本を読んで、そこには何も書かれていない「白碑」と呼ばれる碑石があって、「分断時代を乗り越えた日、四・三の真の名を刻むことができるだろう」という説明文が書かれていることを知りました。歴史はまだこの事件を位置づけることができないのです。

どちらの作品も詩的で幻想的な世界に誘われる作品で、また図書館ぼたんさんの方にお持ちしますので、読まれていない方は読んでみてくださいね。

「まちかど図書館への期待」

杉山逸人

昨年9月、休日にながの東急をぶらぶらしていると、なにやら赤いチラシが目飛び込んできました。「まちかど図書館ぼたん」のオープンを知らせる内容で、かつて一箱古本市に出店した経験もある身としては、自分の棚を持てるという仕組みに非常に興味をそそられました。しかも県立大の皆さんが運営されるということで、これは応援しなければと思いオープニング講演会に参加、すぐに契約させていただきました。

現在、棚に置いてある本は、哲学や生き方関係、講談社文芸文庫「戦後短編小説再発見」、岡崎京子（漫画）など、スジが通っているのかいないのか分からない雑多な感じになっています。今後はテーマを決めた棚づくりもしていきたいなあと考えているところです。今は社会保険労務士という仕事をしており、どちらかというと実用書やビジネス書を手に取る機会が多くなっていますが、もともとは日本文学専攻で古本屋めぐりが日課の文学青年でした。世の中にはさまざまな価値観や考え方があり、いろいろな人がいるのだということを教えてくれたのは、本であり文学だったと思っています。それは、人と関わることの多い現在の仕事にも活かされていると感じます。

まちかど図書館ぼたんは、他のオーナーさんの本棚（＝頭の中）をのぞき見るような感覚があり、とてもワクワクする空間です。こんな世界もあったのか、という新鮮な驚きや好奇心を掻き立てられ、刺激をもらえます。この場所が、いろいろな方と交流したり未知の世界を知るきっかけになったりする、まちの文化拠点に育っていくことを期待しています。

Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun
						1 CLOSED
2 13:00~ 18:00	3 10:00~ 15:00	4 11:00~ 16:00	5 10:30~ 15:30	6 CLOSED	7 11:00~ 16:00	8 CLOSED
9 10:00~ 15:00	10 10:00~ 15:00	11 CLOSED	12 11:00~ 16:00	13 10:00~ 15:00	14 13:00~ 18:00	15 CLOSED
16 10:00~ 15:00	17 10:00~ 15:00	18 10:00~ 15:00	19 CLOSED	20 CLOSED	21 10:00~ 15:00	22 CLOSED
23 10:00~ 15:00	24 10:00~ 15:00	25 13:00~ 18:00	26 10:30~ 15:30	27 10:00~ 15:00	28 13:00~ 15:00	29 CLOSED
30 10:00~ 15:00	※諸般の事情で、変更になる可能性もあります。					

6月の開館日は
こちらです。
皆様のお越しを
お待ちしております！



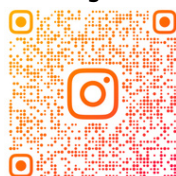
Topic 04

開館時間について

ホームページ



Instagram



開館時間は10時から18時までですが、ゼミ生と教員が店番をしている関係で、その時間内で、可能な時間に開館しております。詳細はホームページまたはInstagramで確認をお願いいたします。

URL: <https://machinakabotan.com/www.machinakabotan.com/>

Topic 05

アクセス



〒380-0826

長野市南長野北石堂町1185-6

JR長野駅から徒歩7分、

※専用駐車場はございませんので、車でお越しの際はお近くのコインパーキングへのご駐車をお願いいたします。

2025年5月31日発行

編集：長野県立大学 グローバルマネジメント学部 築山ゼミナール

住所：〒380-8525 長野市三輪8-49-7 B309研究室

Tel: 026-217-2241 (代表) fax: 026-235-0026

E-mail: tsukiyama.hideo@u-nagano.ac.jp

つめる・広める・コミュニティ！

まちかど図書館
ぼたん